



WEEKLY REPORT ROTARYCLUBOF hakusanishikawa

ガバナー方針: 「語り合おう ロータリーを」 クラブターゲット: 「考えてみよう より良いロータリークラブの姿を」

白山石川ロータリークラブ

2016年9月8日 706

会長: 山内 隆 幹事: 小路昌弘

クラブ会報委員長: 安田晶一 副委員長: 川下英和 委員 野澤誠治・中島育子

事務局/ 白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL076-274-2907 FAX076-274-2908 E: info@hakusanishikawa-rc.jp

HP: //www.hakusanishikawa-rc.jp

会長挨拶

金沢弁護士会には法律で定められた「住宅紛争審査会」という機関が設置されていて、私はその「紛争処理委員」をしています。近江町いちば館にある金沢市消費者センターで開かれる住宅相談会の相談員もしています。ローテーションを組んでそれぞれ1年に2～3回参加しています。裁判は費用も時間もかかりますから、住宅紛争審査会というのは裁判の前段階での、住宅に特化した事実上の調停機関になります。



ですから裁判のように証拠を提出させて裁定するのではなく、それぞれの主張を聞き取って第三者の立場で落としどころを判断し、互いに歩み寄るよう勧めていくこととなります。互いの主張が折り合うことが無ければ裁判へという事になります。

いろいろな紛争や相談がありますが原因としては「入口を間違った」「意思疎通が十分でなかった」

「家族関係」「契約の不備」といったところからスタートしているものがほとんどで、一方的にどちらかが悪いというものではなく双方に問題があることがほとんどです。

こういう処理委員とか相談員をしているのは、自分もめごとに巻き込まれないようにするための情報収集や、仕事の上でのいましめのためです。こういったことにならないようスタートをしっかりとすることに努めています。

幹事報告 (小路 昌弘 幹事)

9/6 ガバナー事務局より、滑川RCの例会場及び事務所住所名称のご連絡が届く。
9/7 ガバナー事務局より、第2ゾーンロータリー財団ニュース9月号が届く。



プログラム 会員卓話 (川下英和 会員)

みなさん、こんばんは。会員卓話は順番で行っていて、本日は私の順番とのものでありますので、喜んで精一杯お話させていただきます。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひ致します。

まず、相続税の現状ですが、1年間に日本全国でお亡くなりになる方は約125万人です。その内、相続税の申告が必要な方は約5万人、亡くなる方の約4%です。ただ平成27年の税制改正により、申告が必要な方は増えています。まだ公式な発表はありませんが、改正前の倍の8%弱くらいに増えたのではないかと体感しています。

平成22年に裁判所へ持ち込まれた遺産紛争は8,015件ありました。その内、財産額1,000万円以下が30.9%、5,000万円以下が43.3%と、税制改正前では相続税がかからないご家族が、実に全体の4分の3になっています。「うちは財産がないからめめる心配はない」という方がいらっしゃいますが、実際は相続税がかからない金額での紛争が多いという状況です。財産があまりない人は、自宅の土地・建物といった分けられない財産しかなく、分けたくても分けられないということがあるのではないのでしょうか。

めめる相続によくあるケースをまとめますと、

1. 2人目の親が亡くなった相続
1人目の親が亡くなった相続では、遺ったほうの親が兄弟の意見をまとめますが、2人目の親が亡くなると兄弟間に争いに歯止めが利かなくなることがあります。
2. 本家長男だが声の大きい姉がいる。
長男が一生懸命まとめようとしても、姉が横槍を入れてくる場合があります。



3. 本家長男以外の相続人に配偶者がいて、その配偶者の商売がうまくいっていない。
4. 本家長男以外の相続人に配偶者がいて、その配偶者が都会の人である。
都会では法定相続分で分けることが当たり前になっています。自宅の土地・建物についても現金化して分けるケースが多いです。しかし、まだ地方では家督相続で長男がほとんどの財産を相続するのがほとんどなので、そこで価値観の違いが出てきてもめてしまうことがあります。

もめない相続では、

1. 本家の長男がしっかりしている。
長男が、リーダーシップを持って、うまく仕切ってくれます。税理士としては助かるパターンです。
2. 親の思い出話をよくする。
兄弟が自分たちの話ばかりする家族はもめることが多く感じます。亡くなった親の話をする家族はもめることが少ないように感じます。
3. 嫁と姑の仲が良い。
一番仲が悪くなりやすいのが嫁姑ですが、その仲が良い家族は全員の仲が良いものです。仲が良い家族はもめることがありません。

もめない相続にするために、私が言うのもおこがましい話ですが、私が考えていることをお話させていただきます。

1. 子供に愛情を注ぐ。
2. 「財産」を平等にするのではなく、「愛情」を平等にする。
子供に愛情を注いでいれば、財産が平等でなくても子供は理解をしてくれるものです。
3. 家族に「思い」を遺しておく。遺言・エンディングノート・メモなど。
文字にして遺しておくことが大切です。「分かっているだろう。」と思っても、実際には伝わっていないことが多いのではないのでしょうか。
法的拘束力のある遺言がベストだと思います。
この遺言などを、相続に携わる関係者の間では「天国からのラブレター」と呼んでいます。

今日のお話した内容が、少しでも皆様のお役に立てればいいな、と思います。

以上で私の話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

ニコニコボックスの発表 (池元 ことみ委員長)

氏 名	メッセージ
山内 隆 会長	川下さん、本日はありがとうございました。相続はまだ先のような気がしていましたが...
小路 昌弘 幹事	川下さん、本日は卓話ありがとうございました。楽しみにしていました。
中川 昭栄	川下会員、ご苦労様です。
安田 晶一	川下会員、本日は大変興味ある相続のお話をありがとうございました。
永瀬 喜子	皆さん、雨の被害大丈夫ですか？我家の雨漏り...見ぬふりしています。 川下さん、卓話楽しみにしています。うちも“もめない”ように!
武藤 一彦	川下さん、楽しく深刻なお話をありがとうございました。 8月のお盆に家内と横須賀に行って来ました。妹ファミリー10人と葉山ホテルで会食をしました。穏やかな海風を感じながらのひと時は貴重でした。
野澤 誠治	川下君、楽しいお話ありがとうございました!
橋本 恵子	台風と共にコスタビクトリアでクルージングに行って来ました。船酔い専門の様な私ですが、さすが大きい船、船酔いも無く快適な旅でした。 本日の卓話、勉強になります。
池元 ことみ	川下さん、卓話ありがとうございました。勉強になりました。

出席報告 (中島 育子 委員長)

出席率：84.37%
出席者：26名 / 33名
出席補填：1名
出席免除者：0名
メーキャップ：2名



本日合計 9,000円 今年度累計 158,000円